

平素より大変お世話になっております。  
このたび小社では、標記の書籍を刊行する運びとなりましたのでご案内申し上げます。



株式会社青幻舎は、雑誌や広告、写真集などでの撮影、特にポートレイトのジャンルで活躍を続けるフォトグラファー 桑島智輝が、その妻で俳優の安達祐実を日々撮り続けた写真集「我がが」を9月に刊行します。

桑島と安達は2011年に写真集の撮影の仕事がきっかけで知り合い、約2年半を費やした安達の写真集『私生活』（集英社）の発表を経て、2014年に結婚。その後、現在に至るまで、桑島は被写体として安達を毎日撮影し続けている。

撮影はフィルムカメラで行われ、出来あがった写真はL判のプリントの状態アルバムに入れて保管するというルーティンが続けられ、約8年経った今、264枚入りのアルバムは100冊を超え、写真は35000枚に及ぶ。その途方もない量のアーカイブから、本書では2015年11月13日の結婚記念日から、2人にとって初めての子どもの誕生を挟んだ、約3年間にフォーカスを当てた。3年間といっても対象となる写真は アルバム70冊分、18500枚を超える量となった。そこから1年半という時間をかけ、135枚に凝縮された写真は、有名俳優である妻とフォトグラファーである夫という前提を忘れさせ、あらゆる要素が輪郭を失い、透明になっていった。妻と夫／被写体とフォトグラファー。レンズを挟んで営まれる夫婦の、家族の日常。そこにあるのはカメラを媒介にして成り立つ、ただひたすらに純粋なコミュニケーションのかたち。本書は、写真史において数多くの写真家達によって形作られてきた、「家族写真」というジャンルに新しい地平を開く1冊となるだろう。

#### ■ 書誌情報

発売：2019年9月下旬  
書名：我がが  
著者：桑島智輝(写真・文)、安達祐実(文)  
構成・デザイン：町口景  
判型：A5  
総頁：160頁  
定価：本体2,500円＋税

#### ■ 著者プロフィール

##### 桑島智輝 (くわじま・ともき)

1978年岡山県岡山市生まれ。カメラマン。2002年に武蔵野美術大学卒業後、鎌田拳太郎氏に師事。04年に独立後、雑誌やタレント写真集、広告で活躍している。13年に、約2年半の安達祐実を収めた写真集「私生活」を発表。14年に結婚。今でも毎日、安達を撮影し続けている。不定期で更新している安達のオフィシャルwebの写りがネットで話題に。

<http://yumiadachi.com/>

<https://qwajima.com/>

<https://www.instagram.com/qwajima/>

著者への取材、画像の手配などご要望がございましたら、下記担当までご一報お願いします。何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社青幻舎 〒604-8136 京都市中京区三条通烏丸東入梅忠町9-1 TEL 075-252-6766 / FAX 075-252-6770

広報担当・新庄: [shinjo@seigensha.com](mailto:shinjo@seigensha.com)

## ■ 著者のことば

夫婦生活は、大小さまざまなことが起こります、それに臆せずトントンと撮り続けてきました。

私にとって妻を写すことは、未来への不安に対するささやかな抵抗であり、

我々の変化の道程を順序立てる記録の束なのです。

こんな夫婦がいた、と人々の記憶の隅っこに爪の跡が残るよう、

先ずは多くの人にこの写真集が行くようにと、願っているのです。

—— 桑島智輝

